

井茂圭洞先生の 日本芸術院賞受賞を 祝つて集う



右上／井茂圭洞先生と中西画伯／右下／会が終って一東会の皆さんと井茂圭洞先生のお見送り／左の上中下は井茂圭洞先生を囲んで。

美しい仲村米子先生の琉球舞踊「女コテイ節」で、静かに序の舞いが哀切の音にのせて始まった。大西智子・中井真弓先生のテンポアップした「カナヨ一太川」の恋唄の相舞。

代って松本幸三先生のテノールで堂々の唄は「空」、ピアノは玲子夫人。続いて琉球太鼓の「瀧落とし・ミルコムナリ」は勇壮。

六月二十日の夜、ホテルオークラ神戸平安の間で、三五〇名が集う書家・井茂圭洞先生の日本芸術院賞受賞を祝う会のオープニングの清興は風格あるプログラム。司会の高橋菜里江さんが井茂圭洞先生の略歴を紹介。発起人代表の前兵庫県知事・貝原俊民氏のあいさつ。そして兵庫県知事・井戸敏三氏と矢田立郎神戸市長、稲垣嗣夫神戸新聞社社長の心温まるメッセージが続いた。

お礼の言葉の井茂圭洞先生は「私は生れながらの悪筆でくせのある字でしたが、兵庫高校に入学して書道部に入ったとき、顧問が深山龍洞先生で大きな影響を受けました。かな文字の均衡の美を重んじられ、きれいな字でない悪筆の中に個性を見つけて下さった。高校の書道の先生になれといわれ、京都学芸芸芸大学に入学、「基礎」を身につけ、深山先生の「助言」で書の道にはまりました。今回の受賞も天から深山先生が導いて下さり、頂けたものと感謝あるのみです。」と、お人柄がにじみ出るこあいさつだった。

乾杯は、神戸芸術文化会議議長の加藤隆久氏。花束は、一東書道会副理事長の宮園小蘭先生と記念品は二紀会常任理事の中西勝先生が。宴もたけなわに兵庫高校OBの武陽44陽会のメンバーを始めとする五十人が井茂先生と共に校歌を合唱し盛り上げた。閉会の言葉は、CSの会会長の林五和夫さんがしめた。

勲一等瑞宝章 笹山幸俊氏の栄誉を祝う



写真は矢田市長のメッセージを受ける笹山夫妻（左上右から）井戸知事／大庭神商会頭／乾杯・貝原前知事／花束を原仁美さんから／右下・井上和世さんと宮本慶子さんと共に／笹山さんを囲んで（左下）

七月十五日の夜。ポートピアホテルの大輪田の間は、勲一等瑞宝章を受勲された前神戸市長笹山幸俊氏の栄誉を祝う会が開かれ、千五百人の市民たちがどっとお祝いに集った。

まず発起人代表の新野幸次郎神戸都市問題研究所所長のあいさつに続いて、矢田神戸市長が、「大震災のときに戦災復興に永年あたられた笹山前市長の震災復興への指示は、非常に適確なものだった。神戸の震災復興の速さはそのおかげです。」と笹山夫妻にメッセージ。

井戸兵庫県知事、大庭神商会頭のお祝の言葉のあと、笹山前市長は、「皆さまのご厚情に心から御礼を申し上げます。お忙しい中を沢山お出まし下さいましてありがとうございます。」

特に私が最近気になっておりますことは、青少年や、子供たちの犯罪事件が大変多いということです。今まで私たち行政が関わっておりましたところの盲点があったのではないかと考えております。これからは、青少年や子供たちが、地域の中でコミュニケーションをとって育って行くことの大切さを痛感しております。これからはこういう視点を持って頑張って参りたいと思います。」と熱っぽい。

「久々の笹山節を聞き、薩摩軍人らしいと感動しました。この賞は、神戸市民が震災の中をよく立ち上がり復興を頑張ったということへの代表者としての受勲であります。」と激励。

乾杯の貝原元知事の言葉に祝杯をあげた。

司会は大谷さん。井上和世さんのソプラノで「愛燦燦」が、宮本慶子さんのマリンバ伴奏で演奏され、美空ひばりファンの笹山さんへ最高のプレゼントだった。千五百人の参加した人々は丸八年六ヶ月目の震災記念日に想いを新たに宴は盛り上った。

“天涯の船” 発刊の

玉岡かおるさんを囲む会

スローフードの和食ホテルオークラ神戸山里で



上は玉岡先生を囲んで／右下はきもの姿の玉岡先生／左中は加藤良一料理長とスローフードのメニュー

今。松方光次郎をテーマに“天涯の船”の上・下を新潮社から刊行した女流作家の玉岡かおるさん。六月二十八日の十一時半から、ホテルオークラ神戸山里で、着付教室で修行中という珍しく着物姿の清々しい装いでゲスト参加された玉岡かおるさんを囲む会が、本誌の主催で開かれ、約千数名のファンが、山里のスローフードをとり込んだ日本料理（四千円）のランチタイムを楽しんだ。

開業十四年を迎えたホテルオークラ神戸の和食堂「山里」の加藤良一料理長のメニューは、兵庫県の食材を主に、兵庫の「湯葉正」の湯葉や、明石の魚貝に、淡路のちりめんじゃこ、そして京山椒、また神戸牛も柔らかに、さすがオークラとの声が多かった。

玉岡かおるさんの長編「女紋」を読んだ人も多く、播州路の風土や気質に共感をおぼえたという人また、「天涯の船」は神戸、アメリカ、ヨーロッパと船旅のロマンを乗せて恋あり、男の夢あり、玉岡さんが「九鬼家の墓」にお参りして見つけた姫の名に作家魂を発揮したというきっかけが面白く、興味津々。八月二日に開かれる県立美術館のパーティにも楽しみだ。

七夕に若柳吉金吾師を囲む夕べ



上は若柳吉金吾夫妻と筒井夫人／下は筒井康隆先生と吉里夫人



七月七日の夕べ。神戸交通センタービル9Fの「松廼家」において本誌の主催する若柳吉金吾師（邦舞家）を囲む夕べが開かれた。邦舞家として毎年意欲的なリサイタルを開催され、創作力抜群の師の舞台にファンやお弟子さんたちも多く、七夕の夜にふさわしく吉里夫人と共にゲストとして迎えられた。作家の筒井康隆さんご夫妻も、ハイボンクラブの友人として久々の神戸の集いに参加。料理は「松廼家」の鶴殿征二

鐘紡記念病院100回記念コンサート



上は堀郁子さん、村上美穂さんと若柳先生／下はきもの姿も美しい吉金吾先生の一門の方々



上はロビーコンサートのフィナーレ／
上右はパーティであいさつする上羽康之院長／下は院長を囲んで



鐘紡記念病院が、六月十九日の午後十六時から十七時三十分まで、一階のロビーにおいて「鐘紡記念病院100回記念コンサート」が開催され入院患者を中心に集った約百人の聴衆が高山美樹さんのピアノ演奏で「ある愛の詩」や「ジェルブルの雨傘」などサンバ、タンゴ、マンボなどの演奏。品川淳子・柴沼恵さんのマリリンバとピアノの合奏は、リストのハンガリアラプソディ（第2番）などの曲目。L a沙凡による雨の慕情や荒城の月などの演奏が流れて、心癒されるひとときを楽しんだ。

上羽康之院長は「大震災のとき大変な状況にこの病院もあり、神戸飯店の林社長も店が全壊し、ピアノが残り、それを病院が預り、被災者の皆さんをなぐさめるこの企画が始まりました。そして音楽家たちのボランティアで100回目の記念コンサートが続けられたことを心より御礼申し上げます」とこあいさつ。

演奏後、ボランティアを続けて来られたミュージシャンたちに、病院の先生や看護婦さんたちから感謝の花束が。また人間ドックのサロンにおいて記念のパーティが、鐘紡らしくおしゃれに開かれ交流が持たれた。

郎さんが腕をふるい。約二十五年組まれて一品のメニュが名（一万円会費）の日本料理が美味。

吉金吾先生は「今夜、少し自分の年令によいと思いが、事の上でどんな役割を果たさず、といけなにかという限りの舞踊、人生の中で今かという常にかまたボジションな大切だと思わなくては、と世阿弥の「時分の花」を意味する含蓄のあるお話しだった。



自然の中でゆとりある暮らし

「多自然居住」のススめ

お話を伺った方

兵庫県土整備部課長
(都市政策担当)

上原正裕さん



上原正裕さん

兵庫県内の自然豊かな地域に滞在したり、移り住んだりする夢を後押しする「多自然居住のまちづくり」について、都市政策担当の上原課長にお話を伺いました。

―多自然居住とはどのようなものですか。

もともと「多自然居住」という言葉は、旧国土庁が発表した第五次全国総合開発計画「21世紀の国土のグランドデザイン」の中で出されたものです。自然環境豊かな農山漁村などの「多自然地域」で、その地域社会とも交流しながら、自然と共生するゆとりあるライフスタイルを実現するものです。

平成十三年に県が行った都市住民へのアンケートでは、「多自然地域との交流」に約七五％の方が興味を持っているという結果が出ました。定年退職し、第二の人生を農山漁村で暮らしたいという方も多くおられるようです。一方、多自然地域では、若者が都市部へと移住して過疎化が進み、集落の維持が危ぶまれるところが出てきました。そのため、いくつかの町では市民農園や一時滞在型の貸別荘など、都市部に住む人々が来て自然とふれあえるような施設を整備しています。例えば、八千代町の滞在型市民農園「フロイデン八千代」。ここは、ドイツのクラインガルテンをイメージした貸別荘付きの市民農園です。そのほか加美町などにも同様の施設ができ、県ではそういった町と多自然居住を希望する方々との橋渡しのため、情報提供などを積極的に進めることにしています。

―実際に多自然居住を実践されている方も多くおられるようですね。

多自然居住には多様なライフスタイルがあります。まず、都市に住み、多自然地域にセカンドハウスを持つて、週末や余暇を利用して自然の中で暮らす「半定

住型」。県外など遠くに別荘を買わなくても、滞在型市民農園を一時的に借りて、農業や家庭菜園に親しむことができます。また、多自然地域で住居を構え、そこから通勤したり、自宅でのビジネスを行ったりする「定住型」。趣味の渓流釣りがきっかけとなって定住を決意された方もいましたね。そのほか、多自然地域の空き家を買取ったりして、地域社会の一員として溶け込んでいく「永住型」を希望される方もいます。気軽なものから本格的なものまで、それぞれのライフスタイルに合わせた居住の形があります。

―青垣町での県の取り組み「多自然居住パイロット事業」についてお聞かせください。

これは、多自然居住を希望する方が住むためのゆとりある住宅地を青垣町が整備するもので、県はそれを支援しています。今年から町が整備工事を始める予定で、定期借地権付きの低廉な分譲住宅地と一戸建て賃貸住宅を整備するほか、地元の人々との交流施設を造り、地域との交流も推進していきます。

整備に当たっては、計画づくりに参加を希望する都市住民の方を事前に募集し、百八組のご家族が登録されました。登録をした方々は、地元の人々との交流活動を行いながら、多自然居住を実現するための問題点や方策などを話し合っていました。

この住宅地の分譲は、来年度から行う予定です。関心がある方は青垣町までお問い合わせください。また、多自然居住に興味のある方は、田舎暮らしのための空き家情報、住宅情報などを提供する「ひょうご住まいサポートセンター」へお問い合わせください。

■青垣町住民課

☎07995(87)10001

■ひょうご住まいサポートセンター

☎078(390)2536

<http://www.hyogo-ikc.or.jp/support/>

自然と共生しつくりあるライフスタイルの実現

多自然居住のまちづくり



豊山漁村が構成されてる
多自然地域と
都市が一体となった
新しい生活圏を
創り出さんだね

いろんな
ライフスタイルが
あるよ

多自然地域に
移り住んで
地元で仕事をしたり
都市に通勤したりする
定住型

都市に
住みながら
週末などに
訪れて滞在する
半定住型

空き家情報の
発信や
貸別荘付きの
市民農園など
いろんなニーズに
対応します

へえ
利用して
みたいな

ふるさとになる
セカンドハウスが
欲しいな

自然の中で
ゆったり
すごしたいな

自分
でできる
野菜を
作りたいな

イラスト 佐藤晴美

AUTOMATA MUSEUMU 博物館

● 9:30~18:00 ● 第2・第3火曜休館
☎078-903-6971



自由にあそべるフロアも



金井啓修さん



西田明夫館長

くるみ割り人形がお出迎え

有馬歳事記

「おもちゃ」と言っている浮かぶものは何でしょう。積み木だったりロボットだったり竹馬だったりゲームだったり、世代によってずいぶん変わっていると思います。が、有馬玩具博物館に来れば、子供はもちろん、大人も文句なしに楽しめます。オープン当日も、木のおもちゃに夢中になって遊んでいる子供たちとともに、大人たちもユニークなからくりおもちゃや懐かしいロボット人形に歓声をあげていました。

さて博物館は6階建て。かつて旅館「文字」があった場所、外湯「金の湯」の向かい。1階は博物館の館長で、世界的にも有名なおもちゃ作家・西田明夫さんのアトリエ。ガラス張りの様子や、西田さん作の精巧なからくりおもちゃをのぞくことができます。展示は3階から6階の4つのフロアにわかれ、ドイツの伝統的なおもちゃ、現代のおもちゃ、からくりおもちゃ・オートマタ、ブリキのおもちゃがそれぞれのフロアに展示されています。日本の伝統玩具であるお茶運び人

有馬一望・歴史の名湯

HYOE

兵衛
向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)
URL <http://www.hyoe.co.jp>



有馬温泉月光園

鴻臈館
KOROKKAN

TEL (078) 903-2255
姉妹旅館 湯の山荘
TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり味に集う
ARIMA

SUNNY SIDE UP
TENNIS CLUB
TEL (078) 903-1024



橘律 有馬
御所坊

TEL (078) 904-0551

静寂さにつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

ワカサ 有馬
陵楓閣

TEL (078) 904-0675



からくりおもちゃ

ついに
オープン!

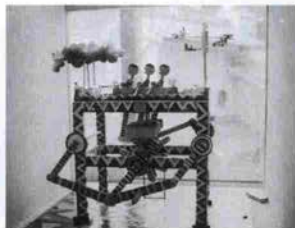
ARIMA TOYS & 有馬玩具

●入場料／おとな（中学生以上）1000円 こども500円

<http://www.arima-toys.jp>



世界各国のさまざまなおもちゃたち…



各フロアで案内してくれる
スタッフのみなさん

形や、神戸人形も多数展示。
晩年に有馬温泉で製作を続けたおもちゃ作家、故・加藤裕三さんのからくりおもちゃもあります。もちろんおもちゃだから、ただ展示するだけでなく自由に遊べるものもたくさんあります。それぞれのフロアにいるスタッフのみなさんが、おもちゃの歴史や作り方を丁寧に教えてくれるので、気軽に尋ねてみましょう。
2階は回転寿司の「有馬食堂」。これらすべてのプロデュースは、旅館「御所坊」の主人・金井啓修さん。有馬温泉に次々に新スポットを創り出して、有馬の空気を变えている人です。本当に素晴らしい。ゆったり流れるとウワサの有馬温泉の時間でさえ早く過ぎてしまう場所です。夏休み、ご家族そろって出かけてください。

有馬での会食・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめるいろり亭「華達」で!!
（昼5000円～、夜9000円～）
有馬温泉 政府登録国際観光旅館
銀水荘別館

ちやうく
北楽

TEL (078) 904-3656(代)

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

日本の伝統
数寄屋造りの館

欽山

TEL (078) 904-0701

チェックイン13:00、アウト12:00
ゆっくりとお過ごしいただけます。

雅たようくつろぎの館

中の坊瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーからご家族づれまで
有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

神戸の本棚



Who is 陳舜臣?

陳舜臣編

デビュー以来四十余年の作家活動のすべてを、時代を縦軸に作品を横軸にして編集。吉田健一が絶賛した初期作品の書評や奈良本辰也・足立巻一らの作品解説も再録、陳舜臣文学の全体像を極める。



集英社
2415円+税

夢・下キュメント
波乱万丈・恋人生

中右瑛

名作「こたつ」や「舞妓舞扇」など、叙情的な美人画で知られる竹久夢二。大正・昭和初期、時代の寵児として生きた夢二の人生は、多くの女性に彩られた人生でもあった。日記や書簡、短歌など、豊富な資料から描き出される、恋の遍歴

者・竹久夢二のドキュメントストーリー。



里文出版
1800円+税

動の書家・望月美佐の華麗なる世界

鶴殿ようこ

千年の伝統を持つ歴史と権威ある日本書道界にただ一人、反旗を翻したとんでもない書家が誕生した。書家の名前は望月美佐。旧来になく新鮮な書世界を創り上げた彼女の、度量の大きさを知ることができる。



講談社
1600円+税

花の顔

佐野公美

あなたの誕生日に贈る、

誕生花と花手紙三百六十六日。育ちゆく花々に注がれる心温かな想いは、人生への応援メッセージとなってあなたに語りかける。



文芸社
1000円+税

お父さん、ごめん

山本光雄



文芸社
952円+税

ガンを克服し、あらためて感じる感謝の気持ち、家族の絆。胃ガンの全摘出手術を受け、現在は健康に暮らす著者が、あたりまえと思っていたことに感謝し、家族の絆を再認識した日々を綴る一冊。

新老人いきいき術

杉山英一

人生は六十歳からが勝負。お金のかからない生きがいをもとめて、まち・山・旅・



新風舎
1200円+税

公民館講座…。人生を楽しむためのヒントが満載。

ドッグ・スマイル

ジェニー・ランベン

犬はうれしいと笑顔をみせてくれます。いろんな犬の笑顔を見ているだけで、とても幸せになれるカラー写真本。犬を飼っていない方にもおすすめ。



アスペクト
952円+税

渡辺有子さんの1、2、3で気ままなおやつ

渡辺有子

特別な道具や材料を必要としない、思いいたらすぐできる、作り方がシンプルで、3ステップ以内でできるおやつばかりを載せた分かりやすいレシピ集。



オレンジページ
820円+税

★今月ご紹介いたしました本を抽選の上読者のみなさまにプレゼントいたします。詳しくは、P124プレゼントメイをご覧ください。



逆境は こわくない

知恵をしぼり、
汗をかけば、
会社は必ず変わる

著者 瀬戸雄三

著者・瀬戸雄三

発行所・東洋経済新報社

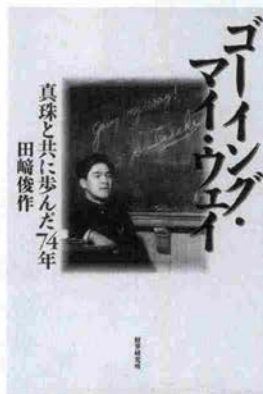
1500円+税

『逆境はこわくない』

アサヒビール相談役瀬戸雄三氏が、企業人として過ごした五十年を振り返り、シェア9%のどん底からのトップ奪還、現場の実体験からの営業の心得、リーダーの要諦、そして経営哲学のすべてを語る。

経営者の立場からすれば、今はきわめて舵取りの難しい時代。経営者一人ひとりが、勇気ある決断と行動で、自らを変え、組織を変え、企業を変えていくしかない。こうした時代だからこそ、お互い励まし合い、競い合いながら、力強く生きていかなければならない。そして、「もともと強い人間になろう」「自らの力で道を切り拓いていこう」というエールを交換し、切磋琢磨しながら前に進んでいこう。

原点は常に「企業は人なり」。社員がのびのびと働き、生きがいを感じられるような職場で、持てる能力を存分に発揮することができるよう、やればできる！もってと身体の内と知恵の汗をかこう！



真珠と共に歩んだ74年
田崎俊作



著者・田崎俊作

発行所・株式会社財界研究所

1500円+税

『ゴーイング・マイ・ウェイ
真珠と共に歩んだ74年』

田崎真珠が創業五十周年を迎えるのを機に、田崎俊作社長みずから自身の心の軌跡と会社の軌跡を記した。そこには「海と真珠」に魅せられ、生涯を燃焼しつつある男の物語がある。少年時代、長崎で夢見た海軍提督への道程を、現代の「日本の真珠王」に切り替えて半世紀、幾多の困難を「指揮官先頭」の精神でよく克服した歴史は、混迷の時代に立ちすくむ二十一世紀初めの日本人に貴重な指針と教訓をしめしている。

大村湾の真珠養殖業の家に生まれ育ち、神戸で創業し、東京・銀座への進出、さらに全国の都市に、世界の主要都市に出店して半世紀。世界に真珠を広めることを目標とし、近年では真珠養殖のオーナー制の導入や、車内カンパニー制の採用、アウトレットの店舗出店など、いつも時代の先をみつめ行動に移す独自の経営理念、世界を見る目的確さ、迫力の源を感じとれる自叙伝である。

Un petit café de Kobe 2003 その⑤

鯉川筋に出現した街の中の書齋
CORENOZ

神戸市中央区中山手通2-1-11

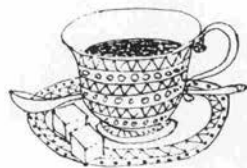
TEL 078 (322) 0510

営業時間 12:00 ~ 20:00

定休日 火曜

<http://www.hm.h555.net/~kps/CORENOZ/>

信時 哲郎



自分の書齋を持つのが夢だという人は多い。では、その夢を実現した人たちが、はたして書齋で読書三昧の日々を送っているのかというと、案外、送っていないように思う。なぜなら自宅というのは、とつても「くつろげてしまふ」からだ。

なにせ自分の家なのだから、なんでも飲むことができるし、食べることもできる。音楽もかけ放題だし、テレビだってビデオだって見ることができる。どんなかつこうをしても誰に咎められるわけでもないし、昼寝だってできる。そう、かくして「自宅の書齋でできない唯一のことは読書だ」という逆説にたどり着く。そして「書齋は街にあるべきだ」という真理を発見するわけである。

そんな人に訪ねてもらいたいのが鯉川筋と中山手通が交差するところに二〇〇二年八月にオープンしたTEA & LIBRARY CORENOZ。もちろん自宅から本を持ち込んでもいいのだが、是非とも壁面に並んだ画集や写真集を手にとってもらいたい。尤も、気がついたら小一時間が過ぎていた、なんていうことにもなりかねないが……。

オーナーの池田さんは、建築士として充実した



日々を送っていたが、いつしか自分の店を持ちたいと思うようになった。やるなら紅茶専門の店かな、などとぼんやり考えているうちに、神戸の街には紅茶専門のカフェがどんどんできてきた。そこで「どこの店とも違うもの、自分の店にしかできないものを見つけないと。」そう思ううちに何年かが過ぎていった。

そんなある日、美大時代に、図書館で画集や写真集を見ているのが好きだったことを思い出し、ついにビジュアルブックに限定した「書齋な喫茶」という現在のコンセプトに辿り着いた。

では、どこに店を出そう。自転車で神戸の街をあちこち走ること二年。やっと見つけたのがこの場所だった。街のと真ん中ではとても画集や写真集をゆっくり眺める気にはなれない。かと言って街から離れすぎてしまってもカフェは機能しない。そこで喧噪と静寂とのバランスがとれている場所として浮かんできたのが鯉川筋だった。

運良くテナント募集中のスペースを見つけると、あとはお手の物。建築士の経験と人脈とカンを頼りに、計画はほとんど実現していった。もっとも今まで手がけてきた住宅建築と商業建築には大きな違いがあり、戸惑うこともあったというが、グリーンの壁面とふんだんに用いられた木の質感はうまくマッチしており、さすがだなと感じさせる。イタリア語か、はたまたギリシャ語か？と思わせる店名の由来を聞いてみると、

「サリンジャーの小説に出てくる幽磨きの会社の名前からです」と、答えることにしてるんですけど、本当は別の理由があるんです。なんだかわかります？」

鯉川文化の仕掛け人はそう言っていたずらっぱ

く笑った。

紅茶（各種）ポット 五〇〇円
カップ 三八〇円
ブレインチャイ 四〇〇円
ホームメイドケーキ 三五〇円
キーマカレー 六五〇円
ピラフプレート 六五〇円 など



外国の絵本は、同じ鯉川筋で友人夫妻の経営するFabulous Old Bookで仕入れたもの



書棚に向かって並べられた椅子は、カフェというよりも図書館の雰囲気



のぶときてつる

33年神奈川県横浜生まれ。神戸山手大学人文学部環境文化学科で宮沢賢治や都市と文学について教えている。

ぴっと・いん



まぐろの旨さを堪能！
肴酒房「まぐろちゃん」

このお店のメニューは、きっぱり男らしくまぐろ料理だけ！意外と多い「まぐろ嫌い」の人も大丈夫。お刺身や山かけ、塩焼きだけでなく、オムレツやチーズステーキ、春巻きなどといった創作料理がたくさんあるのだ。

多分神戸初のまぐろ料理



地酒がずらりと並んだカウンター席

真っ赤な看板が目じるしです

専門店。オーナーの岡村さん、浅田さん、木戸さんが、大好きなまぐろ料理の専門店を神戸にも出したいと昨年オープン。木戸さんが料理を担当している。おすすめはかま塩焼き（1400円）。身がたっぷりで脂ののったかまをじっくりと焼いている。このお店ではまじめにツナも作っているの

で、ツナサラダ（390円）や、ツナの入ったチーズオムレツ（390円）など人気。生もの、焼き物、ご飯ものなど7品がたったまぐろちゃんコースは2500円で、その日のおすすめまぐろ料理が並ぶ（2名）。もうひとつの自慢は、多数そろった地酒と、焼酎。黒糖焼酎や、いも焼酎、そば焼酎など、おすすめをスタッフに聞いてみるのもいい。

場所は、北野坂の水車のある「正家」の横の道を入って、一本めの細い道を北へ。地下にあるので、真っ赤な看板を見落とさないように。

■まぐろちゃん

神戸市中央区中山手通1-7-21

ホワイトキャッスルビルB1F
078-139110969
不定休

湊川のかわいいケーキ屋さん
生粋のバティシエの技
バティスリー「サイハラ」

湊川の商店街・マルシン横にある新湊川の道をはさんで向かい側に、ブルーのパティスリー「サイハラ」の地にオープンして7年め、この5月にリニューアルオープンをした。木のぬ



オーナー斉原さんと明るいスタッフのみなさん



名物・イラスト入り
パースデーケーキ



くもりのあるドア、店内と中央にあるオープンキッチンが楽しい。

オーナーの斉原純さんは、かつて某有名洋菓子メーカーでバティシエとして活躍、独立して、生まれ育った湊川にお店を出した。今ではバティシエを目指す若いスタッフのみなさんとともに、毎日おいしいケーキを作り続けている。

人気はシュークリーム（150円）。昼前には売り切れてしまうこともよくある。旬の果物を使った色鮮やかなタルト、チョココレットたっぷりのフォンダンショコラ（350円）。そして、粉末アーモンドと粉砂糖、卵白を使ったシンプルなお菓子・マカロン。マカロンを見ればその店のレベルがわかるというそうで、あまりのシンプルさゆえに難しく、扱っている店は少ないが、このお店のマカロンは、オーナー斉原さん自慢のお菓子。「外はパリッ、中はじっとり、アーモンドの豊潤な香り」のするマカロン。カラフルでかわいらしいので、手土産にめざむいぞ。もうひとつの人氣は、好きな絵を描いてもらえるパースデーケーキ。見本があれば、斉原さんがきちんと描いてくれる。地元はもちろん、遠くからやって来るお客さんも多い。

■サイハラ

神戸市兵庫区湊川町3-12-17

078-157910456

フリーダイヤル0120-15701456

9:00~20:00
無休

冷たい麺がおいしい冷麺 つるつるとした夏の味 韓国家庭料理「みやま」

神戸文化ホールでのコンサートが終わって、急に開放感とともに空腹をおぼえた。大倉山より東へ徒歩3分、宇治川のたなばな橋を渡ったところに、夜空にもはつきりと「みやま」の3文字が目に入る。早速、冷麺(900円)と石焼ビビンバ(900円)を注文する。名物だけあって、出てきた麺は、細くて、弾力のあるそうめんのようなものである。

ハサミを渡されたが、なれないのでママさんにパチパチと切ってもらう。使い方を教えてもらおうと、刀先を器の底に垂直に、たて、よこと十字を描くように麺を切るのがコツだとか。麺はやわらかいの実に弾力がある。シコシコと食べながら、そのさわやかな味を、のどに飲み込むのが最高。個人的な趣味で、お酢やか

らしを加えるとますます風味がよくなる。だしは牛骨鳥がらでとる。具のゆで豚はショウガで味付け、キウウリ、酢漬けの大根キムチが涼味を倍加してくれる。麺は韓国産の生麺、原料はドンクリの粉、そば粉、かたくり粉等。

三山幸子ママが、定期便で釜山まで直接仕入れに行く。これがこの店の主力品であることを名実ともに物語っている。ほかに石焼ビビンバ、チゲ(なべ)など数多くの種類がある。ただし料理に併せた薬味は、すべてママの手作りで、唐辛子、ごま油、しょうゆ等すべて韓国で仕入れていく。

この店は開店してまだ2年とか。開店の動機が良い。それまで「みやま」は、スナックを25年営業していた。ところが三山さんの長男が「冷麺や食事を専門店に食べに行っても、もうひとつおふくろのようにおいしく食べさせてくれる店がない。おふくろもう年だから、こころで切り換えたら」とのアドバイスで、現在の店を開店したこと。写真がないので残念だが、三山ママは肝っ玉母さんのような実直に立派な大物ママで、ママとの対話を楽しみながらの食事は心身ともに栄養と癒しの効果大に期待してもらってお出かけください。成果は請合います。

△文責/大崎泰三▽

■みやま

神戸市中央区山手通9-6-4
202



078-362-1436
12:00~14:00/17:30~23:00
月曜定休
三宮にマジックの店
BAR「DOUBLE FACE」

大阪にはマジック専門の店が、北新地のクラブや市内に数店あり、個人で、同好の集まり、社用接待等でけっこう繁盛している。

「世界のマジックショー」とか外国から大物・小物のマジシャンを招いて、大・小劇場で催され、さすが吉本興業本社所在地だけのことはある。私たちが関西テレビOBのマジック研究家でもある村上健治さんに同行案内してもらったりして教えを受け、多少関心をもつようになり、アメリカのランス・パトリックのショーへ行ったりしているころ、かつての新神戸OPAで、マジックの店を営業していた南秀和・知子さん夫妻を知った。OPA廃業により、三宮に進出、7月1日に新開店した。

南さんがマジックの世界に入ってから22年になる。その間、西明石、明石と店を移して、2年前にOPAで開店、三宮に店を持つことが夢だった。南夫妻の新しいマジック城だ。カウンターのマジックで、南さんも長年の夢が実現してか、その演じる手元も軽快に動いているようだ。飲み物も、日本酒以外は全部あり。メニュー

も、ちょっとおつまみ類から、一品もの、もりもり食べたいと食欲に応じたメニューがあり、担当は知子夫人(気持ちのせいか引田天功さんにそっくりさんです)。

南マスターはマジックとドリンク担当。今までマジックを見るのは、せいぜいテレビの前だけだったが、気軽に目の前で見られるとは、実にあがたい。

退屈で、独り何か楽しみたいときは、ハードダーツにトライしては。三宮にマジック専門店があることを多くの人に知ってほしい。そして、ほんの一刻でも現実から離れ、マジックの不思議な世界を体験してほしいものです。

△文責・大崎泰三▽

DOUBLE FACE

神戸市中央区北長狭通2-1

グランドコーストビル3F

(神戸サウナの東の筋)

078-392-8220

19:00~翌3:00

日曜休



カウンターに立つ南さん夫妻。
カウンター越しに南さんの華麗なるマジック

イベント スケジュール

2003.08-09

PLAY

オリジナル朗読劇
ボエティック・シンフォニー

「The Seventh Night of July」

9/5(金) 19:00開演

神戸文化ホール(地下鉄「大倉山」)
前売3000円(当日3500円)
フロントフィールズ

☎0424-16713689



劇団青年座に学び、明治座など数々の舞台に出演している演技派俳優・前田敏郎が、4年前から作・演出を担当し始動したオリジナル朗読劇。東京公演に続き、今年も前田の出身地である神戸で公演を開催。

作品「The Seventh Night of July」は、5人の

大人たちが主人公。大学の仲間だった彼らは、それぞれの「今」を抱えて、7月7日、約束の場所へ出かけていくのだが…。俳優たちが語る「言葉」と、背後に映し出された美しい風景。私たちは自由に想像をふくらませながら、ストーリーを追う。

ゆうきじゅん

「アトリエ・ミスマル
イフ feat. Misima」

8/8(金) 19:30
8/9(土) 14:30/18:30

劇団おもちゃ箱いこ場「スタジオ
オトイボックス」

(JR「住吉」南東に徒歩1分)
一般2500円(1ドリンク付)
<http://junbitch.hipinfocook.co.jp>

☎078-82114355



ゆうきじゅん

女優でありシャンソン歌手・ゆうきじゅんが作・構成・演出を手掛け、シャンソンと一人芝居に挑戦。三島由起夫の『近代能楽集』から「班女」を題材に、ゆうきじゅんワールドを展開する。シャンソンと三島の意外なコラボレート、好評の第一回公演に引き続き、8月に再演を行なう。
9月19日には、三宮のクラシックライブハウス・ピュアジュリアンでプチ・ディナーショーを開催。チケット

ART

ト5000円(チャージ・食事・1ドリンク込)。

神戸市立小磯記念美術館
特別展

「コレクション10年をふりかえる」

開催中 9/23火
10:00/17:00

月曜休館

神戸市立小磯記念美術館

(六甲ライナー「アイランド北口」下車)

☎078-85715880



小磯良平「横たわる裸婦」(1931年)

周年を迎えた小磯記念美術館の大コレクションを公開。
小磯良平、西村功、鴨居玲をはじめ、神戸にゆかりのある作家を中心にしたコレクション。毎週土曜14時、学芸員による作品のスライド解説を行なっている。※チケットプレゼントあり。

CINEMA

「キリクと魔女」

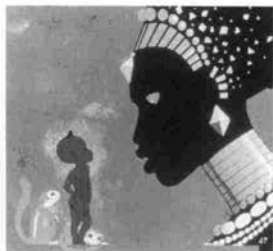
8/9(土)公開(字幕・吹替版共)
シネ・リール神戸

(神戸・朝日ビルディングB1F)
当日一般1800円

学生1500円

火曜は女性1000円

☎078-33412126



この夏、親子で見たい感動のアニメーション。アフリカを舞台にした、まったく新しい世界神話。
少年・キリクが生まれたアフリカの村は、魔女・カラバの恐ろしい呪いにかかれていた。泉の水は枯れ、魔女を倒しにかけた男たちはすべて魔女に食われ、村に残るのは女子どもと老人だけ。「どうして魔女カラバは意地悪なの?」「持ち前の好奇心と行動力で、小さなキリクは賢者が住むという「禁じられたお山」へ旅に出る…。

原作・脚本・監督は、幼少時代をギニアで過ごしたフランス人ミッシェル・オスロ。この作品は、フランスでは観客動員130万人の大ヒットをおさめた。日本では、『火垂るの墓』『おもてでばろぼろ』を手がけたスタジオジブリの監督・高畑勲が日本語版翻訳を担当。日本語吹き替え版は、『千と千尋の神隠し』の「坊」役で注目を浴びた神木隆之介がキリク役に、カラバ役に浅野温子を迎えている。神戸ではシネ・リール神戸で8月より公開。

●ライブハウス・スケジュール

■チキンジョージ

TEL.078-392-0146
9 (土) 諸星和己
10 (日) ナニワ・エクスプレス
12 (火) ムック
13 (水) サカノウエヨースケ/ガガガ
S・P/メガマサヒデ
14 (木) 水倉利紀
18 (月) TETSU NIGHT
19 (火) ケイ赤城トリオ
21 (木) THE STREET BEATS
25 (月) 馬呆
29 (金) RUSH BALL★P
30 (土) 秋人

■ピアジュリアン

TEL.078-391-8081
6 (水) 西本淳(sax)原田恭子(p)
7 (木) 龍智子(p)近藤美香(p)
8 (金) 本吉優子(vn)田中靖子(p)
9 (土) 佐藤和宏(c)大西隆広(p)
10 (日) 金澤佳代子(d)
11 (月) 田淵恵美(c)山内尚子(p)
12 (火) 辻香織(perc)西本淳(sax)
13 (水) 尾崎比佐子(vo)藤木悟(vo)多
久江里子(v)
14 (木) 高橋美香(v)近藤美香(p)
15 (金) 木村奈美(f)鈴木重子(p)
16 (土) 芸大カルテット
17 (日) 大川平徳子(sax)植田浩徳(p)
18 (月) 辻本恵子(p)
19 (火) ジャズ原田紀子 中山良一 松
田忠信
20 (水) 折川真理(vn)中元智子(p)
21 (木) 龍智子(p) 近藤美香(p)
22 (金) 納谷知佐(vo)藤井已加(p)
23 (土) 奥野香織(p)
24 (日) 片桐えみ(p)
25 (月) 高橋美香(v)近藤美香(p)
26 (火) 馬場清孝(vo)多久江里子(p)
27 (水) 鈴木玲子(vn)高橋美香(v)
28 (木) 久保田裕美(f)植田浩徳(p)
29 (金) 武村美穂子(f)藤原優子(p)
31 (日) 奥野香織(p)

■Holly's

TEL.078-261-5147
7 (木) 三浦昌彦カルテット
8 (金) 河野美紀(vo)根来正幸(g)
9 (土) HANNY(vo)富本容子(p)宮本
龍治(b)
14 (木) WW JAZZ Band
15 (金) ゴスペルQUATTRO KAMI
WO
16 (土) 長井美恵子(p)若林美佐(b)里
村稔(sax)小前賢吾(d)
21 (木) 富本容子(p)ほか
22 (金) 小出靖正(b)ほか
23 (土) 三木俊彦(sax)辻佳孝(p)中林
薫平(b)松田広士(d)
28 (木) 大石麻雄子(p)松本哲(g)浦田
和史(b)
29 (金) 藤村麻紀(vo)西田誠(g)笹井克
彦(p)遠見勝(d)
30 (土) 古谷光広カルテット

■真流宗兵衛

TEL.078-332-1963
15 (金) 吉本幸弘(ts)山本昌広(as)須
藤雅彦(g)坂崎拓也(b)清水勇
博(ds)
16 (土) 加藤美和子(syn)上原未来(p)
織田優子(リコーダー)川原紀
子(vo)杉山みどり(フィドル)
17 (日) 江藤雅樹(vo)石橋文博(g)ハチ
ロウ(b)鈴木正人(ds)
18 (月) 原大力(ds)向原千草(as)時安
吉宏(b)生田幸子(p)
19 (火) 西口明宏(ts)須藤雅彦(g)中林
恵志(b)清水勇博(ds)
21 (木) 三木俊彦(as)生田幸子(p)西川
悟志(b)樋口広大(ds)
23 (土) 猛獣ジャズオーケストラ
24 (日) 山田友和(tp)瀬川慎吾(p)柳佑
樹(ds)嵐山令(b)広瀬未来(tp)
25 (月) 末恵仁(c)
26 (火) 内藤大輔(ts.ss)井久美子(s
s)時安吉宏(b)家谷望美(ds)
28 (木) 田澤良介(tp)南田健吾(g)田中
裕太(b)今北勝久(ds)

29 (金) 松本マンボ(org)久井康次(g)
ボス河内(ts)小松竜吉(ts)吉
本康夫(ds)
30 (土) 大川陽子(vo・per)松平豊(sax・
vo)飯田正彦(g・vo)山本浩嗣
(b)
31 (日) 湯田大道(g)瀬川慎吾(p)坂崎
拓也(b)樋口広大(ds)

■SONE

TEL.078-221-2055
4 (月) 新井雅代+トリオ
5 (火) ベティ鞍富+トリオ
6 (水) 辛島寿美子+片岡学カルテット
7 (木) 新井雅代+トリオ
8 (金) 北莊桂子+トリオ
9 (土) 新井雅代+トリオ
10 (日) 大越理加+高橋俊男トリオ
11 (月) ジャネット+トリオ
12 (火) 橋本裕+カルテット
13 (水) ボンビ橋本+トリオ
14 (木) 宮岡英子+大塚善章トリオ
15 (金) 辛島寿美子+トリオ
16 (土) ベティ鞍富+トリオ
17 (日) 原田紀子+水田トリオ
18 (月) 北莊桂子+カルテット
19 (火) キャンディー・浅田+トリオ
20 (水) 新井雅代+トリオ
21 (木) 古谷光広カルテット
22 (金) 新井雅代+トリオ
23 (土) 北莊桂子+橋本裕カルテット
24 (日) チャキバンド
25 (月) 大越理加+トリオ
26 (火) 北莊桂子+トリオ
27 (水) 石宮美和ひきかたり+ギター
トリオ
28 (木) 大越理加+長谷川元伸カル
テット
29 (金) ベティ鞍富+トリオ
30 (土) 大越理加+トリオ
31 (日) 日高典雄カルテット

■WACA 2

TEL.078-333-6768
9 (土) YOSHIMI

23 (土) 鍾木修トリオ
24 (日) シバ
30 (土) BLIND DATEセッション

■イエローリボン

TEL.0798-34-2872
7 (木) くまこうろ
8 (金) アドベンチャーズ
10 (日) プリママーケットのため休み
16 (土) KENWORTH
22 (金) 45RPM
23 (土) FOOL'S SILVER
24 (日) てりやきチックス
28 (木) MATCH VOX
29 (金) DADDYBOYS CLUB BA
ND
30 (土) STAMPEDE
31 (日) LIVERPOOL

■グレートブルー

TEL.078-231-0071
5 (火) 長岡芳(vo)安藤義則(p)
6 (水) たなかりか(vo)安藤義則(p)
8 (金) 岩井豊子(vo)安藤義則(p)
9 (土) 黒台真理子(vo・p)奥田勝彦(b)
小林亮(ds)まさたまさみ(g)
10 (日) 光本名勝(sax)安藤義則(p)
12 (火) 布目麻理子(vo)安藤義則(p)
13 (水) たなかりか(vo)安藤義則(p)
15 (金) 安藤義則(p)
16 (土) 小林エミ(vo)安藤義則(p)
17 (日) 南多加夫&Expression
19 (火) 元木美穂(vo)安藤義則(p)
20 (水) たなかりか(vo)安藤義則(p)
21 (木) 徳田雅崇(vo・p)
22 (金) 橋本真悠子(vo)安藤義則(p)
23 (土) 堀江ミカ(vo)安藤義則(p)
24 (日) 安藤義則門下生ライブ
27 (水) たなかりか(vo)
28 (木) まり選(vo)安藤義則(p)
29 (金) Yoshika(vo)Andy(p)
30 (土) 春野由利(vo)安藤義則(p)奥田
勝彦(b)ガリバー(ds)
31 (日) 山村いつか(vo)安藤義則(p)

愛読者チケット プレゼント

★神戸市立小磯記念美術館「コレ
クション大公開」ペア3組
★市民映画劇場9月例会「プレッ
ド&ローズ」(9/19・20) ペア
3組
★映画館招待券
●パルシネマしんこうえん(湊川
公園) 2名
●「19「007ダイ・ナザリ・
デー」トランスポーター」▽8
/20▽19/3「戦場のピアニスト」
「マレナ」▽9/4▽15「アバ
ウト・シュミット」過去のない
男

●ベレーネシネマ(西区) ペア5
組
上映中▽8/29「ボケッ
トモンスター」▽上映中
「タリミネーター3」▽上映中
「ボケッ トモンスター」▽8/23
「ハルク」▽8/30「ドラ
グヘッド」▽9/20「トゥーム
レイダー2」

●西灘劇場(灘区水道筋) ペア5
組
8/9▽22「きらめきの季節・美
麗時光」「ぼくんと」▽8/23
9/5「白と黒の恋人たち」他1
本▽9/6▽19「チベット」の女・
インの生涯」他1本

●応募方法
ハガキかファクシミリで①希望す
るチケット(劇場名)②住所・氏
名③電話番号④今月号の感想を書
いて〒65010011 神戸市
中央区下山手通2113 3 建創ビ
ル4階(FAX07813331
2795)「月刊神戸子チケッ
トプレゼント」係までお送り下さ
い。

ポケットジャーナル



★第17回メリケン地蔵盆

今年も8月24日(日)11時～21時、メリケン波止場基部にて、メリケン地蔵盆が行われる。11時からのお身拭いに始まり、17時30分からは再度山大龍寺井上有恵師による法要。その後、楽しいカラオケのど自慢や南京町の歌姫范丹陽さんの歌、盆踊り、精霊流しと続く。メリケン地蔵盆で、神戸の復興と21世紀の平安を祈ろう。



毎年恒例のメリケン地蔵盆

★神戸港遊覧のニューフェース「ベイ・ムラマサ」就航



スマートな「ベイ・ムラマサ」

神戸ベイクルーズの3隻目の遊覧船「ベイ・ムラマサ」が7月19日からお目見えした。200名乗船可能な、バランスのよいリバーボート型で、これからの季節に海風が心地よいオーブンデッキとなっており、明石海峡大橋や神戸大橋を360度の大パノラマで満喫できる。発着は神戸港中突堤浮桟橋1番。大人900

円・シルバー・中高生700円・小人450円 毎時15分発・約50分の遊覧。神戸港の観光の新しい顔となりそう。

★熱い時こそスパイシイな汗 HOT! HOT!

神戸市立布引ハーブ園では、9月7日(日)までスパイスフェスティバルを開催中。8月13日～17日は、スパイシーカレーを楽しむ＆スパイスの調合やスパイスのお絵かきなど楽しいイベントも盛りだくさん。夜間開園もスタートしており、ハーブ園展望広場から見下ろす神戸の夜景は幻想の世界。ぜひこの夏、ヨーロッパのイメージの漂うハーブ園でゆとりのひとときをどうぞ。

■開園時間10:00～20:30(年中無休) <http://www.kobe-park.or.jp/herb>



ハーブは香りがあり、料理・薬用など生活に役立つ

誕生日
ありがとう
運動



誕生日フェスタへ

毎年、誕生日ありがとう運動が開いている啓発行事「誕生日フェスタ」への計画がすすんでいます。ことしは第四回、知力ハンディキャップのある本人さんが主体となった内容などの具体的な話し合い。ことしは：を入れたらどうですか」と新しい提案もありとても意欲的です。

昨年参加の流通科学大学の学生さんは力強いサポーター。昨年の経験の上に本人さんと更に交流を深め、いっしょにフェスタへともり上げていきたい、と具体案も次々出され話し合いに熱が入ります。

① 本人中心の会であること 本人さん集まれ!!

② 11月はじめの予定
③ 会場は、中央区吾妻通の生涯学習支援センターの予定
みなさんぜひ来てみてください。たのしいですよ。

誕生日ありがとう運動本部
〒650-8790 神戸市中央区中町通4・2・11村上ビルB1
TEL&FAX 078・360・1257

★「櫻正宗」第十一代山邑
太左衛門襲名



第11代山邑太左衛門氏

前副会長長十代太左衛門氏が
山邑摂郎氏にもどられた。
これからも三百年余りの歴
史と伝統を大切に、「清酒
といえば櫻正宗」であり続
けていかれることを祈念す
る。

東灘区に本社をおく「櫻
正宗」は、一七一七年創業
以来灘五郷の中心魚崎郷か
ら、杜氏こだわりの品々を
世に送り出してきた老舗。
このたび、山邑芳子さんが
七月から代表取締役会長に
就任、専務の山邑尚道氏が
第十一代山邑太左衛門を襲
名、代表取締役社長に就任。

★神戸っ子モデルご用達
「t z u t z i」の靴

今月の巻頭ページ、De
ar Princessesのモ
デル、金巻美沙さん（海星
女子大学2年生）がはいて
いる靴は、神戸のブランド
t z u t z iの夏の新作。
帆布に皮をあしらったデザ
インで、6センチのスタッ



価格は1万5千円と手頃

クド調ヒール。カジュアル
な中にも神戸らしいセンス
にあふれ、とてもはきやす
いと評判は上々。中央区栄
町通2-11-2東ビル地
下1階に直営店があり、足
に優しいドライビングシュー
ズも数多く揃えているので、
ぜひのぞいてみたい。TE
L 078・327・846
0

花時計



★生かせ！市民力

神戸は今、元気がない。
震災復興10年が、平成17年
1月17日によってく。10年
目までには何とか目鼻をつけ
たいと、中山手のカトリック
教会や、下山手の栄光教会が
再建にとりかかっている。
テアロードのNHK神戸放
送局も、その日世界に向けて
発信する。懐かしい顔がよみ

がえるのだ。
今は、10年を前にぐっとし
んぼうのしどころではなから
うか。この間に、市民の認知
が必要だ。親水性のあるミナ
トづくりも、海フェスタを
機に、海洋博物館のホールを
海洋スポーツクラブにするな
ど、海洋スクールにするなど
考えてみてはどうだろう。
神戸のファッション都市宣
言30周年記念に開かれた、ファッ
ション美術館も「神戸ライフ
スタイル展」のように、神戸
にもっとこだわった美術館に
と思う。ワールド・ジャヴァ・
イズムなど企業ファッショ
ン展もやってほしい。「ワイ
ルド展」「ジャヴァ展」「イズ
ム展」でもいい。そこでファッ
ションが買えるのもいい。
私は自身、神戸のファッ
ションメーカーが、どんな歴

史をもって発展して来たのか
何も知らない。神戸のファッ
ションを、生活文化として
衣・食・住・遊を含むの
であれば神戸ファッショ
ン原点にもどってファッ
ション美術館でやってはどうだ
ろう。
神戸市は天下りの行政マン
が館長になることが多い。も
ういいかげんにそういうこ
は止めて、その道のきつプロデ
ューサーを引き抜いてきてはい
かが？！のような、兵庫県立美
術館の木村重信さんのような。
矢田市長は今、市民の声を
聞かれる気軽なスタイルが素
晴らしい。復興10年に向けて
参画と協働。生かせ、いのち
は弘法大師だが、生かせ！市
民力。を矢田市長にぜひやっ
ていただきたい。(M・K)

K O B E P O S T

★第33回エクソソニール音楽
賞・邦楽部門の受賞者に大和楽
家元の大和久満師が。兵庫県姫
路市出身。長閑人間国宝の芳村
伊十郎に師事し、芳村伊十七と
して活躍。作曲家の古賀政男に
も師事。昭和44年に初代家元大
和美世英師に師事され大和楽に。
62年二代目家元を襲名。三味線
の名手として作曲家として貴重
な存在。贈呈式は11月27日ホテ
ルオークラで（東京）
★株式会社ラジオ関西の代表取
締役社長に、6月より村井顯彦
氏が就任され、常務取締役（管
理関連企業担当・総務局長）中
川弘氏、取締役（編成、報道制
作担当、報道制作局長）森岡一
孝氏、取締役（常務・経営企画
担当・経営企画室長）三枝博行
氏、取締役（非常勤）に宮井昌
志氏、池田志朗氏が新任。稲垣
嗣夫、井上義郎が退任される。
★阪神基地隊司令の小林秀至氏
が7月をもって退官。新司令に、
海軍将、神田忠夫氏が着任され
た。
★東京海上コンサルティング
（株）の代表取締役社長・瀬尾
征男氏が、6月をもって特別顧
問に。後任に山田友久氏が就任
された。
★神戸映画サークル協議会の塩
見正委員長が退き、飯川徹氏
が新委員長に就任された。
★関西田真珠の奥田一郎会長が、
7月13日81歳で亡くなられ、モ
ダン寺で7月15日に葬儀が。
喪主は奥田真弥氏。ご冥福をお
祈りいたします。
★テアロード神仏仙閣の西側にあっ
た珈琲館はつねの美しいマヤマ
田多恵子さんがガンのため死去
され、5月7日にご葬儀が取り
行なわれたが、ご主人の修三様
からご通知が、心よりのご冥福
をお祈りいたします。

六甲山トレッキングツアー企画

コーディネーターと
一緒に六甲山を歩きま
せんか

六甲を見逃すな！！

四季折々の六甲山を感じながら、
山の歩き方、山の楽しみ方を体験
できます。



第1回 六甲山トレッキングツアー

- ◆日 時：9月24日（水）
- ◆参加人数：15名程
- ◆コース：未定（9月上旬に決定）
- ◆参加費：3,000円
（交通費、食費は個人負担）
- ◆締 切：9月10日

◎申込方法：住所・氏名・年令・性別・
電話番号を事務局まで、
FAX、E-Mailにてお知らせください。

◎毎月1回（年12回）

◎参加人数：15名程（随時募集）

服装、装備のご相談は、イカワスポーツへ
神戸市中央区下山手通3-3-1 ウェルストンビル1F
TEL.078-331-3390 FAX.078-331-8087

協力：（株）アシックス・イカワスポーツ

神戸には、街の中に山があります。このような恵まれた環境は、日本中、世界中を見渡しても他にはありません。この素晴らしい環境を利用して、いろいろなのぼり方をして六甲山の自然を肌で感じましょう。

重廣恒夫氏と、井川勲氏のコーディネートで、初心者でも安全な登山が楽しめます。六甲山では、四季を通して多くのことを学ぶ事が出来ます。少人数ですので、きめ細やかな指導が受けられます。また、経験を重ねてゆくといろいろな可能性が広がっていきます。「六甲山」から「エベレスト」トレッキングも夢ではありません。

コーディネーターと一緒に、山の登り方（技術）、山の楽しみ方（四季折々の山の顔）を体験しながら。なおかつ神戸らしさを味わうことができるツアーです。

コーディネーター

重廣 恒夫氏

（アシックス・
アウトドアマイスター）

73年エベレスト南西壁の世界最高点（当時）へ到達。以来、K2に日本人として初登頂、チョモランマ、ナムチャバルワ等を未踏ルートで登頂等数々の記録を持つ。96年には日本百名山を123日で連続踏破した。

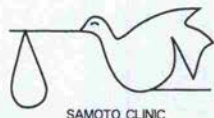
井川 勲氏

（イカワスポーツ店主）

神戸生まれ。
関西学院大学卒業後、山とスキーの専門店「イカワスポーツ」に入社。
1968年六甲学院山岳会より南米パタゴニア遠征隊に参加、世界初の氷床横断に成功。
1998年より「ふるさと兵庫50山」を企画案内。

月刊神戸っ子

事務局 TEL.078-331-2246 FAX.078-331-2795
E-Mail kobecco@crux.ocn.ne.jp



SAMOTO CLINIC

佐本
産科

ママといっしょに



あかちゃん：古川璃桜ちゃん
(平成14年8月8日生まれ)

バ：博昭さん
マ：けい子さん

「優しい子になってね。」

★佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15
TEL：078-575-1024 (病室TEL：078-577-7034)

市バス上沢4 停南スグ
●駐車場完備●

えと日占い《八月の運氣》

子	ねずみ月(12/8~1/5)生まれ 運氣はまだ完全に回復したとは言えぬ。計画外の前進は適ちを招く憂いもある。幸い南北方面に吉神が存在するため意外な助力者が現れる。	丑
寅	うし月(1/6~2/3)生まれ 運氣はいたって不振といえる。物事も乱調。気味が多く進退の選択も容易ではない。この苦境からの脱出は相当堅固な心と努力が必要。自己に頼るのみ。	卯
辰	とら月(2/4~3/5)生まれ 暗雲低迷し前途は前進への滑路に立つ月でもある。焦れは焦るほど泥沼に踏み込んでいく状態となる。慎重に方針を定め堅実な方策を選ぶこと。	巳
午	うさぎ月(3/6~4/4)生まれ 運氣は順調に動いているがどうも身辺からの反発が目立ってくる。なにかれと束縛も多行行動が容易ではない。進退の分岐点でもある判断を大切に。	未
申	たつ月(4/5~5/5)生まれ 意気揚々とした盛運のときなり。懸案の事は実行に移し前進せよ。新規の計画はよく検討し実行に掛かることが肝要。よからぬ邪魔物に注意すること。	酉
成	へび月(5/6~6/5)生まれ 本質的には悪い運氣ではないが他人事で気苦労の多い月ともいえる。金銭的には縁があるものの収支のバランスが崩れやすく細心の注意が肝要。	亥
	うま月(6/6~7/7)生まれ 運氣は再び好転してきた。この盛運は自分の頭越しそつ。この機を逃さず身近なことから解決に取り掛かること。但し傲慢不遜な対処は逆効果となる。	
	ひつじ月(7/8~8/7)生まれ 吉凶が入り乱れる様な運氣の月なり。物事の食い違いも起ころし思いがけぬ出費が多くなる。しっかりした管理が必要。やはり現状維持が大切。	
	さる月(8/8~9/7)生まれ 低迷気味だった運氣も回復し順次物事も運び始めている。この機を逃さず一歩づつ前進せよ。慎重な考慮での行動は必ず成果が上がってくる。	
	とり月(9/8~10/8)生まれ 空想と現実との区別を明確にして掛からぬと大きなことになる。現状の把握が前途の成果に大きな影響を与える。先急ぎは損失を招く事にもなる。	
	いぬ月(10/9~11/7)生まれ 運氣は下降し憂運状態となってしまった。暗雲低迷で滑路も定められず憂いかつづく。些細なことからの争い、話し合いの手違いなどに十分な注意を。	
	いのしし月(11/8~12/7)生まれ 蘇る盛運の月にて破竹の勢いで諸事突破することができる。反面誘惑甘きものも多く気迷いも生じ易い。自己の初心を忘れぬ今一息の奮発が未来を決める。	

人間関係・心の問題・家族・職場・恋愛など
占師 わらおう 予約 078-321-6865

各駅の神戸歴史ウォーク(7) 停車の神戸歴史ウォーク(7)

摂津本山駅

莊園の名と銅鐸

田辺眞人



平安時代になると律令制が崩れ始めて公地公民の原則がないがしろにされ、各地に私有の莊園が出現した。鎌倉時代には開発は一層進んだ。神戸市東灘の東方には芦屋の庄や本庄、住吉川沿いには山路の庄などの莊園が記録されている。しかし、南北朝時代の混乱期に領主たち支配者が争っているうちに各地で農民たちが村を形成し、室町時代には自治的な結束を固めていった。戦国時代から安土桃山時代をへて全国支配を確立した江戸時代の幕府や藩は、このような村を通じて農民を支配した。

明治22年に市制・町村制が施行されると村々は合わさって、新たな行政のための「村」を形成し、人口の多いところでは「町」さらに都市部では「市」が成立した。兵庫県内ではこの時、神戸と姫路の二市が誕生した。当時の神戸市はほぼ現在の中央区と兵庫区の地域であった。現在の東灘区の東部では江戸時代以前の深江・青木・西青木の三村が合わさって昔の莊園名を取って、本庄村を創った。深江・青木が本庄の一部だったから、山路庄の区域に含まれていた西青木を押さえ

て命名したものであろう。一方、本庄の地域にあった内陸部の他の村々(森・中野・小路・北畑・田辺)は、山路庄の地域にあった村々(岡本・野寄・田中)とともに一行政村を創った。この村名は本庄と山路の両莊園名の一字づつを採って本山村とつけられ、昭和10年に開設された駅はこの村名から名付けられたのである。なお、これら本庄村・本山村と西方の魚崎町・住吉村・御影村とを併せた五か町村が神戸市に合併して東灘区になったのは昭和25年のことである。

この五か町村の神戸との合併に際しては、賛否を争う激しい論争があった。同年の4月によろしく御影・魚崎・住吉が神戸市と合併した後も、本庄・本山の二村には東隣の芦屋市との合併を望む住民も多く、それに対して灘市あるいは甲南市を創設しようという住民もあったからである。本庄・本山はようやく10月に神戸市と合併したのである。

山裾の南向きの緩傾斜地である本山一帯は、先史時代から人々の生活に適していた。今から2千数百年前に、大陸から青銅や鉄などの金属器と稲作が伝わり土器作りの技術も進歩して、弥生文化の時代に入ると、六甲山地を流れる河川沿いに稲作の農耕社会が形成されていった。中国の『漢書』や『魏志』はそのような日本をたくさんクニに別れており、身分の別があったと記している。それら小国の王たちが権威の象徴としたものが鏡や剣や鉾などの青銅の祭器だったが、東灘区域は弥生時代の青銅器の出土に関して極めて興味深いところでもある。

多神教の日本で、光と熱・生命の根源として特に信仰されたのは、近寄りがたい太陽であった。伝来した青銅の鏡に映すと、太陽が手の中に取れた。当時の人々は銅鏡は神の宿る不思議な器として畏敬した。また、金属の武器は、従来の木や石の武器とは比較にならない鋭さで敵や獣を倒した。人々は青銅の剣は恐ろしい物を倒す力を宿していると考えた。伝わった金属製のベル(鐸)は聞いたこともない音を出し、人々は銅鐸に

田辺眞人の「日本通史」 受講生募集

兵庫県私学会館（元町駅東口北へ3分）にて

10月から毎月第4金曜夜7時〜8時半

全5回で8千円（含 資料代）

問合せ先は主催者・文化教育新聞社

TEL 078-332-3664



②



③



①

- ① 保久良神社
- ② 本山村役場跡之碑
- ③ 昭和39年に灘区桜が丘から出土した銅鐸・銅戈
(神戸市立博物館蔵)

音を出す不思議な力を感じた。こうして、青銅器は神や力が宿る祭器として地域社会ごとに珍重された。東灘区では東から順に森・中野（いずれも今は本山北町）・本山南町・住吉町湊が森から合計4口の銅鐸が、保久良神社境内では銅戈（武器の一種）が見つかった。おそらく芦屋川・高橋川・要玄寺川・天井川・住吉川の流域ごとの地域社会が宝物として持っていたのだらう。東灘区域はこのように、弥生時代の小国の規模を考える上で興味深いのである。

ところで、長い間、湊が森の西では垂水区西舞子北部まで、灘・中央・兵庫・長田・須磨の各区は銅鐸出土の空白地帯で、謎とされていたが、昭和39年に灘区桜が丘の山腹造成地から一挙に14の銅鐸と7本の銅戈が出土して、謎が解けた。石屋川流域の勢力が、西方にあった20以上のクニを統合して、宝器を取り上げて一か所に集めたものだと考えられるからである。そのすぐ西に大量に弥生土器が出した灘区伯母野山遺跡がある。この人々がこの多数の銅鐸や銅戈と関係があったのかもしれない。この石屋川流域の勢力が垂水までの広い範囲に影響力を持っていたのか、先述の空白地帯のどこかに別の青銅器類が埋まっているのか、それはわからない。

摂津本山駅で降りると私はいつも、こんな戦後の合併交渉のごたごたや、弥生時代の青銅器の出土を思い出すのである。



たなべ まこと

1947年、神戸生まれ。兵庫高校・関西学院大学文学部卒業。現在、園田学園女子大学国際文化学部教授。地域史研究で神戸市文化奨励賞、神戸市文化活動功労賞を受賞。また、ニュージーランド学会副会長や宝塚市教育委員をもつとめる。『神戸の伝説』・『神戸の100年』・『ニュージーランドの風土と生活』など著書・監修多数。

■北斎ミステリー〈7〉

ダルマ・パフォーマンス

中右 瑛

世界的に有名な『北斎漫画』（初編）は、なんと、江戸ではなく地方の尾張名古屋から発せられたのだった。出版元は名古屋の永楽屋東四郎。

北斎センセイが上坂の途次、ひょんなことから立ち寄った名古屋。当地の画家・牧墨僊宅で、気のむくままに書き残したスケッチ帖が、後に大ベスト・セラーになるうとは、当時、出版元・永楽屋ならずとも、北斎センセイすら思いもよらなかったことだった。

しかし、これほどまでにセラーズになるには、永楽屋のおやじの苦勞も並大抵のものではない。宣伝のためには様々なアイデアをねった。その一つが、あのダルマ・パフォーマンスである。

アノ氣むずかしやの北斎センセイに百二十帖の大ダルマを、大衆の面前で一氣に仕上げてもらうというものであった。

センセイ二度目の来名るとき、永楽屋のおやじと墨僊が相談の上、断わられるのを承知の上、二人はセンセイに頭を下げて頼み込んだ。

センセイも変り者。永楽屋のおやじと墨僊のいいなりに軽く引受けた。

実はセンセイもなかなかの曲者だ。センセイの方にも魂胆があった。センセイの企みを知らず、おやじと墨僊は大喜び、氣の変らぬ内にと、早くもその準備にとりかかった。



文化十四年（二八一七）、十月五日、それは実行された。

その宣伝ポスター『北斎大画即書引札』には、次のようなことが記されている。

尾州名護屋本町通り
門前町大地において来ル
十月五日席画
たたみ百二十畳敷
達磨大師の尊像を画リ
目六尺 はな九尺
口七尺 みみ壹丈二尺
面テ三丈二尺
ふで米俵五ひやう
同 志ゆうはうき
同 竹はうき
当日雨天にては日おくり

当日は晴天、イベントは決行され、センセイは半日で即席ダルマを描きあげたという。

そのときのセンセイの熱戦ぶりは、名古屋藩士で画家の高力猿猴庵の著書『北斎大画即書細図』で、絵入りで詳細に伝えられている。

北斎筆ポスター『北斎大画即書引札』（名古屋市立博物館蔵）

挙行された西掛院周辺は、前日から緑日の如く店が出て前景気をおおり、当日は早朝から群衆が押しかけたという。

センセイは紋付、ハカマ姿の正装。墨は手桶に入れて門人たちが手伝い、センセイは大きなワラ筆で、右の目、左の目、そして輪郭線など一氣に書き上げた。



紋付、はかま姿の正装の北斎センセイ、大きなワラ筆で大タルマを一氣に描きあげる。

見物衆はヤンヤの喝采。だが余りにも大きいので全容はさっぱり。何が描かれたのか？わからず、だという。

仕上った壁画は、ようやく夕方になって、かねて仕掛けられた杉丸太のやぐらに吊上げたのだが、大きくて半分しか吊るされず、翌六日の朝、杉丸太を高く組み直して、壁画は天高く吊り上げられ、やっと、その全貌が見られるようになり人々は驚きの声をあげた。噂を聞いて、その日は終日、群衆が詰めかけ、近くの料亭までもが大繁盛だったという。

「北斎は小さな絵ばかりで、大きな絵は描けまい……」という噂をはね返し、大成功を収めたのである。センセイ五十八歳の挑戦だった。それ以来、センセイは各地でタルマ・パフォーマンスをやらされる羽目になるのである。

陳列ご披露はたったの二日間、この大タルマ、その後は西掛院で永らく保存されていたというのだが、戦災で焼失してしまった。もし残っていたれば、センセイ最大の絵だったハズである。

永楽屋が仕掛けたタルマ・パフォーマンスに、まともに乗せられたかのように見えたセンセイだったが、センセイの魂胆は、永楽屋に借金の無心だった。

なにしろ、絶えず住居を転々とし、生涯、長屋暮らしの貧乏生活。銭なし、文無しで筆一本で渡り歩く。旅行先の各地には借金が多い。

しかしながら永楽屋への借金は一度や二度では収まらない。たび重なる無心に、永楽屋も遂には根をあげてしまったのだ。

■中右 瑛（なかう・えい）

抽象画家。浮世絵・夢二エッセイスト。一九三四年生まれ、神戸市在住。行動美術展において奨励賞、新人賞、会友賞、行動美術賞受賞。浮世絵内山賞受賞。半どん現代美術賞、兵庫県文化賞、神戸市文化賞など受賞。現在、行動美術協会会員、国際浮世絵学会常任理事。著書多数

■みだら夜話／第七回

おたあ大明神

あさき またら

浅黄斑〈作家〉

絵・犬童 徹

最近、とみに物覚えが悪くなった。物忘れがひどくなった、とも言える。

つい先日、神戸そこう裏の西村屋で会食があり、近道をとるためヒルとヒルとの間の路地のような細道に入った。初めて通る道だった。一品料理屋だか居酒屋だかの間に、ひっそり埋もれるようにして、祠のような神社があるのに、通り過ぎながら気づいた。轍みたいなのに「おたあ明神」だか「おたあ大明神」だか書かれていて、ふと興味を持ったのだ。でも正確に「おたあ」だったかどうか、今は自信がない。

約束の時間が迫って急いでいたのだが、これが物書きの悲しいサガというもので、引き返して確かめた。由緒が書かれていて、「元はなんとか町にあつた、なんとか家の守り神であつたが、なんとかの事情で、この地に移して云々」とあつた。そのときは覚えたつもりなのに、なんとか、とい

うところは全部忘れてしまった。我ながらおそろしい。西村屋ではコンパニオンやら、ヤトナさんたちを呼んで大酒かつくらったから、そのせいにしたいところだ。

いずれにせよ、しらふの時にもう一度訪ね、じっくりメモを取ろうと思っている。現在は書き下ろしの締め切り直前。実のところ、ほぼ百パーセント間に合いそうにない。ずっと自主カンツメの状態なのだ。

それにしても、ほとんど忘れてしまっているにもかかわらず、なぜ「なんとか大明神」ではなく、「おたあ」という具体的な名だけが、脳裏に刻まれてしまったのだろう。

たぶん、こうだ。

秀吉の朝鮮侵略のとき、小西行長の捕虜の中に、ひととき美しい少女がいた。高麗の貴族の娘で、そのまま日本に連れ帰られ、滝子と名づけられ愛



育された。立派な拉致である。行長は熱心なクリスチャンであったから、滝子も洗礼を受け、ジュリアの洗礼名をもらう。ジュリアお滝、である。

やがて起こる関ヶ原の戦いで、お滝の運命は大きく変わる。敗れた行長は処刑され、お滝は流れ流れて駿府城へ送られた。この駿府城には徳川家康がいた。すでに七十一歳の爺様だが、公称「二妻十五妾」というくらいスケベ爺様でもある。

お滝の美しさに目を奪われた家康は、妾になれと強要した。

だが、クリスチャンであるお滝は、これをはねつける。キリスト教を弾圧していた家康は、「形だけでも転宗して」と懐柔策に出るが、意のままにはならない。ついには遠島を申しつけるぞと脅すが、これにも屈しない。

ほとんど困った家康は、ついにお滝に大島への遠島を申しつけた。だがその時、家康は護衛としてつけた町奉行の彦坂光政に、本人が大奥へ戻ると言えば、すぐにも連れ帰るようにと言いつめている。

通常の流人は、近くの清水あたりで船に乗せるが、お滝の場合は伊豆の網代まで歩かせた。長旅の苦しさで、お滝が弱音を吐くのを待ったのだ。このあたり、いかにも家康らしい。

だがお滝は弱音を吐かず、ついに大島行きに乗った。慶長十七年（一六一二）の三月のことに。だが、大島には僅かに一ヶ月しか滞在を許さ

れなかった。大島の島民に、たちまちキリスト教が伝播して、家康をあわてさせたからだ。

今も伊豆大島の筆島海岸には「オタイネの碑」

と呼ばれる白い十字架が建っている。僅か一ヶ月で、島民たちから「おたあ様」あるいは「おたいね明神」と尊崇されたお滝が、島民たちに見送られて、この浜から新島へと流されていった場所だ。

だが、「おたあ様」は、新島にも十五日しか滞在を許されず、さらに人気の少ない神津島へと移された。やがて家康が死に、お滝は忘れ去られた存在となって、四十年近くを遠島で過ごし、慶安四年（一六五二）に没している。

日本の神様以外を祭神とする神社は、僅かに3ヶ所が知られていて、長崎市淵神社境内にある桑姫大明神と、対馬厳原の八幡境内にある今宮神社、それにもうひとつが伊豆大島のおたいね大明神。果して私が三宮のヒルの狭間で発見したのは、なんだったのか。

もしかしたら、大発見かもね。

どなたか詳しい人がおられたら、ぜひお報せをください。

ということで、今回は、みだらな徳川家康を看に、第一報まで。



■浅黄斑（あさぎ またら）推理作家。一九四六年神戸市生まれ。西神ニュータウンに在住。一九九二年小説推理新人賞、一九九五年日本文芸家クラブ大賞を受賞。日本文芸家協会、日本推理作家協会などに所属するとともに、日本文芸家クラブ関西支部長（きょうも風さえ吹きすぎる「ちよんがれ西鶴」「櫻島殺人海流」「トカラ北上殺人前線」など著書多数）。

■連載エッセー／コーヒークップの耳 ⑬

白米

出石アカル

絵・菅原 洸人

わたしは八月十六日生まれ。家内は同じく八月の十三日。年は違いが三日しか離れていない。だからお互いに誕生日のプレゼントをしたことがない。

十三日にわたしが家内にすれば、三日後のお返しを意識しているように思われはしないかと考えてしまう。と、そんな言いわけをしている。

そして家内もわたしにしない。家内がわたしにすれば、それは、わたしがしないことへの非難の

ように、わたしは思いはしないかと考えてしまつて。というようなわけで、お互いに誕生日のプレゼントはしないことにしている。ああ、ややこしい話だ。

そこで店のお盆休みである。お客様に「お盆休みは？」と聞かれると、わたしは「しません」と答えることにしている。すると一瞬、えっ？と怪訝な顔をされる。「その代わりわたしたちの誕生日休暇を13日から16日まで」と言つて呆れられて



いる。

*

*

さて今回の登場人物。13回目になるが、これまでに女性の主人公はわずかに二人。たしかにわたしの店の女性客は男性に比して少ないが、実は魅力的な人がたくさん見える。今回はそのうちの一人。帽子が好きでちょっとおしゃれな木村恵美子さん、66歳。

正直な人である。年上の人をつかまえて言うのも失礼な話だが、かわいい人である。知らないことはすぐに教えを請う。学歴の低さも隠さない。無学歴ならわたしも負けてはいないけれど、こんなわたしにでも、解らない言葉が出てくると、素直に「それどういふこと?」と尋ねる。子どものように純真な人なのだ。

ご主人を早くに亡くされて、苦勞して二人の子どもさんを育て上げた。今はもう氣楽になって、駐車場の管理人をしながら日々の暮らしを楽しんでおられる。

その木村さんの昔話。

「戦後すぐ、わたしはまだ子どものころやった。ご飯はいつも麦や大根や芋を混ぜたんばかり。それで、いっぺん白いご飯が食べてみたくてね、両親と兄が畑へ行ってる間に姉弟四人で炊いて食べてん。ちょっとぐらいいやったら見つからへんと思て。だけどわたしはまだ小さかったし、うまいこと炊けなくて、ヒチャヒチャになってね。そやけどおいしかった。下の弟に『どうや、おいしいか?』て聞いたら、こっくりうなづいて、ニコッ

と笑てん」

ほんとにいい顔をして話される。

あの時代、みんな貧しかったけれど、ある意味でいい時代だった。と、言ってはいけないのだろうか。それは感傷に過ぎなくて、思い出だから美しく思えるのだ、と簡単に批判してしまっているのだろうか。

「だけど、帰って来た親にすぐに気づかれてしもてん。わたしらの様子がおかしかったらしくて、そこらへん見回して、すぐ米びつ開けられて。ほんで一番上やったわたしが思いっきり怒られてん。お母ちゃんにひどいこと叩かれた。兄にも、畑から穫ってきた大根で思いっきり頭叩かれた。白い大根真つ二つに折れてしもてん。そらそうやなあ。しんどい畑仕事して帰ってきたら、大事な白米を勝手に食べてるんやもん。そやけどあの時の白米はほんまにおいしかった」

この時の罪の意識が子ども心に、深く刻まれてるのだろう。だから折にふれて思い出すのだろう、とわたしは思ったのだが……

実はこの人の罪の意識は、微妙に別のところにあったのだ。

「ほんまはわたし、自分が食べたいのにね、一番下のわけの分からん弟に、『あんた白いまま食べたいか? 食べたいやろ? 炊いたるか?』て聞いてね、『うん』て言わせてん」

いずし・あかる 兵庫県生まれ。「風媒花」「火曜日」同人。兵庫県現代詩協会会員。詩集「コーヒーカープの耳」(編集工房ノア刊)にて、2002年度第31回ブルーメール賞文学部門受賞。